

2023 年度技能五輪「電子機器組立て」職種 栃木県大会（全国大会一次選考）に 当校の選手 2 名が出場

6月21日（水）当校の学生2名が、技能五輪「電子機器組立て」職種 栃木県大会（全国大会一次選考）に出場しました。

県大会は技能検定二級の実技課題と同じ課題で、はんだ付けや筐体組立ての技能で勝負する競技大会です。

< 出場選手 >

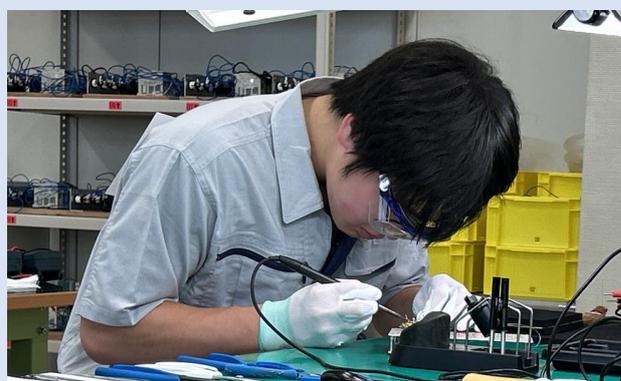
専門課程 電子情報技術科 2年

大嶋 唯吹 選手（出身校：栃木県立宇都宮白楊高等学校）

齊木 寛大 選手（出身校：山梨県立韮崎高等学校）



< 競技中の 大嶋 選手 >



< 競技中の 齊木 選手 >

技能五輪「電子機器組立て」職種は、全国大会では回路設計、CAD による図面作成、マイコンのプログラミング、回路の修理、測定など電気・電子系のエンジニアに求められる総合的なスキルで勝負する競技会です。

全国大会に出場する選手の多くは、企業に所属して日本一あるいは世界一を目指して毎日練習に打ち込んでいます。その中で、学生選手が全国大会に進出するのは本当に大変なことです。

初参加の選手が全国大会に進出するには、一次選考、二次選考を突破する必要があります。

一次選考は技能検定 2 級の実技課題で行われます。そのため一次選考に出場し成績を残すと、専門課程卒業後に、「二級技能士」という資格を取得できるメリットもあります。

二次選考は 8 月下旬に一次選考通過者を一堂に集めて実施、全国大会のスキルを問う筆記試験です。当校の選手達は一次選考直後から、二次選考突破に向けて勉強に打ち込んでいます。

競技に参加することで、エンジニアに求められる抜群のスキルを身に付けることができます。